

受 検 番 号	氏 名

令和 8 年度 (前期)

2 級建築施工管理技術検定

第一次検定問題

令和 8 年 6 月 14 日(日)

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて 25 ページです。
2. 試験時間は、10 時 15 分から 12 時 45 分です。
3. 問題の解答の仕方は、次によってください。
 - イ. [No. 1]から[No. 4]までの 4 問題は、全問題を解答してください。
 - ロ. [No. 5]から[No. 14]までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 - ハ. [No. 15]から[No. 17]までの 3 問題は、全問題を解答してください。
 - ニ. [No. 18]から[No. 27]までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
 - ホ. [No. 28]から[No. 37]までの 10 問題は、全問題を解答してください。
 - ヘ. [No. 38]から[No. 42]までの 5 問題は、全問題を解答してください。
 - ト. [No. 43]から[No. 50]までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題は、解答数が指定数を越えた場合、減点となります。
5. 問題番号 [No. 1]から[No. 37]、[No. 43]から[No. 50]は、四肢択一式です。
正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。
6. 問題番号 [No. 38]から[No. 42]は、施工管理法の能力問題で五肢択一式です。
正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。
7. 解答用紙への記入に当たっては、次によってください。
 - イ. 解答は、選んだ番号を解答用紙のマーク例の良い例に従って、[HB]の黒鉛筆か黒シャープペンシルで塗りつぶしてください。ボールペン、サインペン、色鉛筆等では採点されません。
 - ロ. マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
8. 解答用紙は、雑書きしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙は、計算等に使用しても差し支えありません。
10. 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
11. この問題用紙は、第一次検定の試験終了時刻まで在席した場合に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席する場合は、持ち帰りできません。

※ ^{もんだいばんごう}問題番号 [No. 1] から ^{もんだい}[No. 4] までの ^{ぜんもんだい}4 問題は、^{かいどう}全問題を解答してください。
^{もんだい}問題は ^{よんしつ}四肢択一式です。^{せいがい}正解と ^{おも}思う肢の ^{あし}番号を ^{ばんごう}1 つ ^{えら}選んでください。

[No. 1] ^{おと}音に関する ^{かん}記述として、^{きじゆつ}最も ^{もつと}不適当なものはどれか。

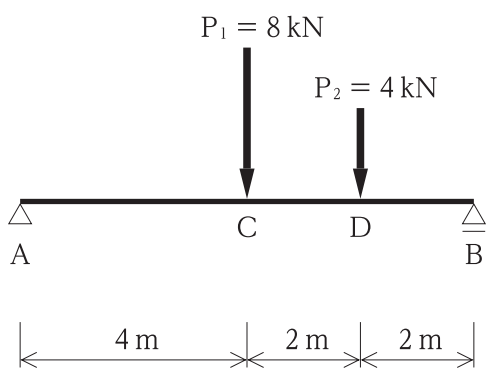
1. ^{おと}音の ^{つよ}強さの ^{レベル}レベルが ⁶⁰60 dB の ^{おな}同じ音源が ^{おんげん}2 つ同時に存在する場合、^{どうじ}音の ^{そんざい}強さの ^{ぼあい}レベルは ^{おと}約 ^{つよ}120 dB となる。
2. ^{てん}1 点から ^{きゆうめんじょう}球面状に ^{ひろ}広がる音源の場合、^{おんげん}音源からの ^{おんげん}距離が ^{きより}2 倍になると、^{ぼあい}音の ^{おと}強さの ^{つよ}レベルは ^{やく}約 ^{げんしょう}6 dB 減少する。
3. ^むフラッターエコーとは、^あ向かい合った ^{かべどうしとう}壁同士等で ^{おと}音が ^{たじゅうはんしゃ}多重反射する ^{げんしょう}現象をいう。
4. ^{はんきょう}反響とは、^{ちよくせつおん}直接音と ^{はんしゃおん}反射音が ^{ぶんり}分離して ^き聞こえる ^{げんしょう}現象をいう。

[No. 2] ^{てつきん}鉄筋コンクリート ^{こうぞう}構造における ^{こうぞうたいりょくじょうしゆよう}構造耐力 ^{ぶぶん}上 ^{はしらおよ}主要な部分である ^{はり}柱及び ^{はいきん}梁の ^{かん}配筋に関する ^{きじゆつ}記述として、^{もつと}最も ^{ふてきとう}不適当なものはどれか。

1. ^{はり}梁は、^{ぜん}全 ^{しゆきん}スパンに ^{じょうげ}わたり主筋を ^{はいち}上下に ^{ふくきんばり}配置した ^ふ複筋梁とする。
2. ^{はり}梁は、^{あつしゆくがわ}圧縮側の ^{てつきんりよう}鉄筋量を ^ふ増やすと、^{ちい}クリープによる ^{ちい}たわみが ^{ちい}小さくなる。
3. ^{はしら}柱の ^{おびきん}帯筋は、^{はしら}柱の ^{じょうげたんぶ}上下端部より ^{ちゅうおうぶ}中央部の ^{かんかく}間隔を ^{みつ}密にする。
4. ^{はしら}柱の ^{ですみぶ}出隅部の ^{しゆきん}主筋には、^{まつたんぶ}末端部に ^つフックを付ける。

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 3] 図に示す単純梁 AB の点 C に集中荷重 P_1 、点 D に集中荷重 P_2 がそれぞれ作用したとき、CD 間に生じるせん断力の値の大きさとして、正しいものはどれか。



1. 1 kN
2. 3 kN
3. 4 kN
4. 8 kN

[No. 4] 内装材料に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. タイルカーペットは、バックング材を裏打ちしたタイル状の敷物である。
2. ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) は、植物繊維を主原料として成形熟圧製板したものである。
3. フレキシブル板は、セメントと無機質繊維を主原料とし、成形後に高圧プレスをかかけたものである。
4. 強化せっこうボードは、芯材のせっこうに油脂をしみ込ませ、強度を向上させたものである。

※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 5 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 5] 換気に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 定常状態で室内汚染物質の発生量が等しければ、室容積の大小によらず、必要換気量は一定になる。
2. 流入口から室内に入った空気の空気齢が短いほど、その空気は新鮮といえる。
3. 局所換気方式とは、局所的に発生する汚染物質を発生源近くで捕集して排出する換気のことである。
4. 第3種機械換気方式は、給気側にのみ送風機を設け、外気に比べて常に室内を正圧に保つことができる。

[No. 6] 採光に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 昼光率とは、室内のある点の天空光による照度を、全天空照度で除したものである。
2. 昼光率は、窓等の採光部の立体角投射率によって異なる。
3. 室内のある点における昼光率は、時刻や天候によって変化する。
4. 室内に要求される基準昼光率は、居間より事務室のほうが高い。

[No. 7] 鉄骨構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 鉄骨構造の柱は、鉄筋コンクリート構造の柱に比べ、小さな断面で大きな荷重に耐えることができる。
2. 鉄骨構造の架構は、鉄筋コンクリート構造の架構と比べ、変形能力が高い。
3. 大空間を必要とする建築物に用いる長大な梁は、トラス梁とすることで軽量化を図ることができる。
4. 軽量鉄骨構造に用いる軽量形鋼は、通常の形鋼に比べ、部材がねじれにくく局部座屈に強い。

※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 5 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 8] 鉄骨構造の部材に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ダイアフラムは、梁から柱へ応力を伝達するため、仕口部に設ける部材である。
2. フィラープレートは、厚さの異なる板をボルト接合する際に、板厚の差による隙間を少なくするために設ける部材である。
3. 合成梁に用いる頭付きスタッドは、鉄骨梁と鉄筋コンクリート床スラブが一体となるように設ける部材である。
4. 裏当て金は、鉄骨建方のために、鉄骨柱等に仮に取り付ける部材である。

[No. 9] 基礎杭に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

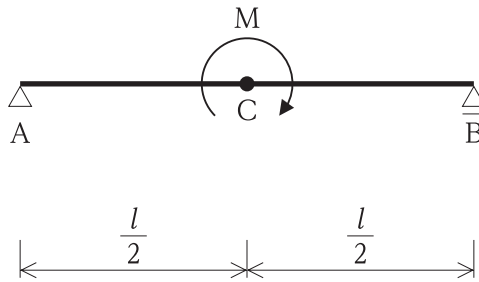
1. 鋼杭は、地中での腐食への対処法として、肉厚を厚くする方法、塗装やライニングを行う方法等が用いられる。
2. 拡張断面を有する遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (ST 杭) は、拡張部を上側にし中杭として使用することで、上杭の径を大きくすることができる。
3. 節部付きの遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (節杭) は、主として、その先端の支持力によって上部構造からの荷重を支える杭として用いられる。
4. 外殻鋼管付きのコンクリート杭 (SC 杭) は、大きな水平力が作用する杭に適している。

[No. 10] 建築物の構造設計における荷重及び外力に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

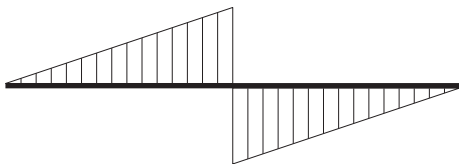
1. 積雪荷重は、雪下ろしを行う慣習のある地方では、雪下ろしの実況に応じて垂直積雪量を減らして計算することができる。
2. 事務室の積載荷重の値は、一般に、大梁、柱又は基礎の構造計算用より、床の構造計算用のほうを大きくする。
3. 地震層せん断力は、建築物の弾性域における固有周期及び地盤の種類に応じて算定する。
4. 風圧力は、地震力と同時に作用するものとして計算する。

※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 5 問題を超過して解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

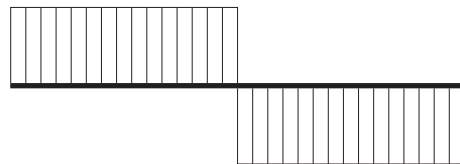
[No. 11] 図に示す単純梁 AB の点 C にモーメント荷重 M が作用したときの曲げモーメント図として、正しいものはどれか。
 ただし、曲げモーメントは、材の引張側に描くものとする。



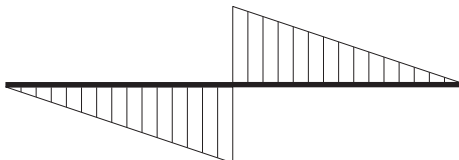
1.



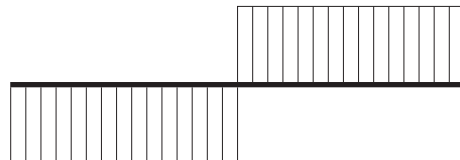
2.



3.



4.



※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
5 問題を超過して解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 12] 鋼及び鋼材に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 鋼のヤング係数は、約 $2.05 \times 10^5 \text{ N/mm}^2$ である。
2. 鋼の密度は、約 2.3 g/cm^3 である。
3. 一般構造用軽量形鋼は、SSC 材と呼ばれ、冷間成形された軽量形鋼である。
4. 建築構造用炭素鋼鋼管は、STKN 材と呼ばれ、材質を SN 材と同等とした円形鋼管である。

[No. 13] タイルに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ラスター釉とは、光彩を発するようにした釉薬である。
2. マット釉とは、つや消し効果のある釉薬である。
3. 湿式タイルとは、粉末状の土をプレスで成形し焼成したタイルである。
4. 面取タイルとは、側面を丸く加工し出隅等に使用するタイルである。

[No. 14] シーリング材の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。





1. ポリイソブチレン系シーリング材は、耐熱性が良好である。
2. アクリルウレタン系シーリング材は、ガラス回り目地に適している。
3. シリコン系シーリング材は、目地周辺を汚染することがある。
4. アクリル系シーリング材は、未硬化の状態では雨に流されやすい。

※ 問題番号 [No. 15] から [No. 17] までの 3 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 15] アスファルト舗装工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 路床は、地盤が軟弱な場合を除いて、現地盤の土をそのまま十分に締め固める。
2. 路盤は、舗装路面に作用する荷重を分散させて路床に伝えるものである。
3. プライムコートは、路床の仕上がり面を保護し、路床と路盤との接着性を向上させる。
4. タックコートは、基層と表層を密着し、一体化する役割を持っている。

[No. 16] 構内電気設備の名称とその配線用図記号の組合せとして、最も不適当なものはどれか。

1. 避難口誘導灯 
2. 屋外灯 
3. 壁付コンセント 
4. 分電盤 

[No. 17] 空気調和設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 定風量単一ダクト方式は、一定の風量で送風するシステムで、負荷変動の異なる複数の空間に適している。
2. 放射暖房方式は、設置したパネルや埋設した配管に温水や蒸気を通すこと等により、加熱された放熱体からの放射熱を利用する方式である。
3. ファンコイルユニットは、熱源機器で作られた冷水や温水の供給を受け、冷暖房を行う機器である。
4. 全熱交換器は、換気のために排出する室内空気が持つ熱量を回収する装置である。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
 7 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 18] 遣方及び墨出しに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 遣方を設けて、建物の高低、位置、方向、心の基準を明確にした。
2. ベンチマークは、複数設置により相互の誤差が生じるため、設置は 1 か所とした。
3. 通り心、高低のベンチマーク等の基準墨については、図面化し、墨出し基準図を作成した。
4. 高さの基準墨は、各階基準床仕上げ面から 1 m 上がりとした。

[No. 19] 既製コンクリート杭工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. セメントミルク工法において、根固め液は、あらかじめ掘削した孔に杭を挿入した後に注入する。
2. セメントミルク工法において、掘削中の孔壁の崩壊を防ぐための掘削液は、一般にベントナイト泥水を使用する。
3. 中掘り根固め工法において、杭の中空部に挿入したアースオーガーで掘削しながら杭を設置した後、根固め液を注入する。
4. プレボーリング拡大根固め工法において、杭周固定液は、杭と周囲の地盤との摩擦力を確保するために使用する。

[No. 20] 型枠工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 階段が取り付く壁型枠は、敷き並べた型枠パネル上に現寸で墨出しをしてから加工した。
2. 横に長い窓開口の腰壁部分のふたには、コンクリートの充填を確認するため、両端部に開口を設けた。
3. 埋込み金物やボックス類は、コンクリートの打込み時に移動しないように、せき板に堅固に取り付けた。
4. 外周梁の側型枠の上部は、コンクリートの側圧による変形防止のため、スラブ引き金物で固定した。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
7 問題を超過して解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 21] トルシア形高力ボルト接合に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ボルトの本締めは、ピンテールが破断するまで締め付けた。
2. ボルトの締め付けは、ボルト群ごとに継手の中央部より周辺部に向かう順序で行った。
3. ボルトの首下長さは、締め付け長さにナットと座金の高さを加えた寸法とした。
4. ナット側の座金は、座金の内側面取部がナットに接する側に取り付けた。

[No. 22] 木造在来軸組構法に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 束立て床組の大引の継手位置は、床束心とした。
2. 根太掛けの継手位置は、柱心とした。
3. 胴差の継手位置は、梁及び筋かいを受ける柱間を避けた。
4. 垂木の継手位置は、母屋の上で乱に継いだ。

[No. 23] シーリング工事にに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. マスキングテープは、シーリング材のへら仕上げ終了後、直ちに取除いた。
2. 裏面に粘着剤が付いているバックアップ材は、目地幅より 1 mm から 2 mm 程度小さい幅のものを使用した。
3. 充填箇所以外の部分に付着したシリコン系シーリング材は、硬化する前に直ちに除去した。
4. ノンワーキングジョイントとなるコンクリートの打継ぎ目地は、シーリング材の充填深さの最小値を 10 mm とした。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
 7 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 24] タイル張りに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 有機系接着剤張りにおいて、タイル表面に付着した接着剤は、表面が粗いタイルであったため、硬化した後に砂消しゴムを使って削り取った。
2. 床タイル張りにおいて、張付け面積が小さい下地は、セメント 1 に対して砂 3 の貧調合で硬練りの敷モルタルとした。
3. 壁のモザイクタイル張りにおいて、張付けモルタルの 1 回に塗り付ける面積は、タイル工 1 人当たり 3 m² 以内とした。
4. 壁タイル面の伸縮調整目地は、下地コンクリートのひび割れ誘発目地を避けた位置に設けた。

[No. 25] 床コンクリートの直均し仕上げに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 床仕上げレベルを確認するためのガイドレールは、床コンクリートを打ち込んだ後に 4 m 間隔で設置した。
2. 木ごてを用いた中むら取りは、コンクリート面を指で押しても少ししか入らない程度になった時期に行った。
3. 金ごて中ずりは、表面にセメントペーストがあまり浮き出ないように行った。
4. 張物下地において、散水養生は、最終こて押えの後、12 時間程度を経てから行った。

[No. 26] 外部に面するサッシ等のガラス工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 網入板ガラスは、ガラスの下辺小口及び縦小口の下端より $\frac{1}{4}$ の高さまで防錆処置をした。
2. 高層階のバルコニーのガラス手すりは、合わせガラスを使用した。
3. グレイジングチャンネルの継目の位置は、ガラスの下辺中央部とした。
4. ガラス溝内に置くセッティングブロックは、ガラス 1 枚につき 2 か所設置した。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
7 問題を超過して解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 27] 内部仕上げの改修工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. モルタル下地面に残ったビニル床タイルの接着剤は、ディスクサンダを用いて除去した。
2. モルタル下地の磁器質床タイルの張替え部は、研り用ののみを用いて、手作業で存置部分と縁切りをした。
3. 大規模なコンクリート間仕切壁の撤去には、油圧クラッシャを用いた。
4. 既存の合成樹脂塗床材の上に同じ材質の塗床材を塗り重ねる際、接着性を高めるため、既存仕上げ材の表面に目荒しを行った。

※ 問題番号 [No. 28] から [No. 37] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 28] 事前調査に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 着工に当たって、埋蔵文化財の有無について調査を行うこととした。
2. 防護柵の設置に当たって、敷地の高低差や地中埋設配管の位置の確認をすることとした。
3. 敷地内の排水工事に当たって、公設枦まで排水管の勾配が確保できるか調査を行うこととした。
4. 山留め壁の位置を検討するに当たって、敷地境界や近接構造物までの離隔距離を確認することとした。

[No. 29] 仮設計画に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 既存の塀が所定の高さを有し、危害を十分防止し得る構造であったため、仮囲いとして使用することとした。
2. 工事完成間近において、工事事務所は、適当な移転先がなかったため、監理者の承認を得て、施工中の建築物の一部を使用することとした。
3. 下小屋は、材料置場の近くに設置し、電力や水道等の設備を設けることとした。
4. 工所用ゲートの有効高さは、鉄筋コンクリート構造の工事のため、最大積載時のトラックアジテータの高さとする事とした。

[No. 30] 工事現場における材料の保管に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ロールカーペットは、横に倒して 2 段から 3 段までの俵積みとした。
2. 袋詰めセメントは、通風を避けて保管した。
3. アスファルトルーフィングは、屋内の乾燥した場所に平積みで保管した。
4. スレート板は、平積みとし、積上げ高さを 1 m 以下とした。

※ 問題番号 [No. 28] から [No. 37] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 31] 工程管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 工程計画を立てるに当たっては、その地域の雨天日や強風日等を推定した作業不能日を考慮し、全体の日程を求める。
2. 基本工程表には、監理者の検査、承認等の日程を記入する。
3. 各作業の実働日数は、作業の総施工数量に 1 日当たりの施工数量を乗じて求める。
4. 暦日とは、実働日数に作業休止日を考慮した日数である。

[No. 32] バーチャート工程表の一般的な特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 工程表で出来高曲線を表示すると、進捗状況が把握しやすい。
2. 工程上で重点管理する必要がある作業が判断しやすい。
3. 工程における作業の先行、後続の関係が表現しにくい。
4. 全体工期の短縮を検討する場合、工程のどこを縮めればいいのかかわりにくい。

[No. 33] 品質管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 川上管理とは、品質に与える影響が大きい前段階や工程の上流で品質を管理することである。
2. 品質管理とは、建築工事においては、施工計画書に基づいて工事のあらゆる段階で問題点や改善方法等を見出しながら、合理的、かつ、経済的に施工を行うことである。
3. 施工品質管理表 (QC 工程表) の管理項目は、目指す品質に直接関係している要因から取りあげる。
4. 試験とは、性質又は状態を調べ、判定基準と比較して良否の判断までを下すことである。

※ 問題番号 [No. 28] から [No. 37] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 34] フレッシュコンクリートの荷卸し地点での試験及び検査に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. スランプ試験は、0.5 cm 単位で測定する。
2. スランプの許容差は、指定したスランプの値にかかわらず一定とする。
3. 空気量の許容差は、指定した空気量の値にかかわらず一定とする。
4. 温度測定は、試料に挿入した状態の温度計の値を 1℃ 単位で読み取り、記録する。

[No. 35] 品質管理に用いる図表及び用語に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 散布図とは、対応する 2 つの特性を横軸と縦軸にとり、観測値を打点してつくるグラフ表示である。
2. マトリックス図法とは、行と列に配置した二元表によって 2 つの事象の関係を示す交点の情報を記号化することで必要な情報を得る手法である。
3. PDCA サイクルとは、品質を向上させるために、計画、実施、コスト、処置のサイクルを繰り返す取組みである。
4. QCDSE とは、施工管理において基本の項目となる品質、原価、工期、安全、環境のことである。

[No. 36] 作業主任者を選任すべき作業として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 工作物のコンクリートの打込み
2. 解体工事における石綿の除去
3. 高さが 5 m の足場の組立て
4. 建築物の骨組みの高さが 5 m の鉄骨の組立て

※ 問題番号 [No. 28] から [No. 37] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 37] 足場に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 単管足場の隣接する建地の継手部は、千鳥となるように配置した。
2. 単管足場において、単管と単管の交点の緊結金具は、直交型クランプ又は自在型クランプを使用した。
3. くさび緊結式足場において、壁つなぎの間隔は、単管足場の法令で定められた間隔を適用した。
4. 単管足場の沈下防止のため、敷角の上に単管パイプを直接乗せて、脚部に根がらみを設けた。

※ 問題番号 [No. 38] から [No. 42] までの 5 問題は能力問題です。全問題を解答してください。
問題は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 38] 鉄筋のかぶり厚さに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差を考慮した割増しを加えたものである。
2. かぶり厚さの確保には、火熱による鉄筋の強度低下防止等の目的がある。
3. 杭基礎におけるベース筋の最小かぶり厚さは、杭頭から確保する。
4. 腹筋を外付けする大梁の最小かぶり厚さは、幅止め筋の外側表面から確保する。
5. 土に接するスラブにおける最小かぶり厚さは、捨コンクリートを含めた厚さとする。

[No. 39] コンクリートの調合に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 水セメント比は、耐久性を確保するためには、一般に低いほうがよい。
2. 細骨材率は、乾燥収縮によるひび割れを少なくするためには、高くするほうがよい。
3. 単位セメント量は、過少であるとコンクリートのワーカビリティが低下する。
4. AE 減水剤は、所定のスランプを得るのに必要な単位水量を減らすことができる。
5. 粗骨材として用いる川砂利と碎石は、それぞれが所定の品質を満足していれば、混合して使用してもよい。

[No. 40] といの施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 硬質塩化ビニル製軒どいは、とい受け金物に金属線で取り付けた。
2. 硬質塩化ビニル製たてどいは、継いだ長さが 10 m を超えたため、エキスパンション継手を設けた。
3. 硬質塩化ビニル製軒どいの両端は、接着剤を用いて集水器に堅固に取り付けた。
4. 塗装鋼板製谷どいの継手部は、シーリング材を入れ 60 mm 重ね合わせて、リベットで留め付けた。
5. 鋼板製はいどいは、上の階のたてどいから下の階の集水器まで、屋根の流れに沿って取り付けた。

※ 問題番号 [No. 38] から [No. 42] までの 5 問題は能力問題です。全問題を解答してください。
問題は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 41] せっこうボード張りに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 天井の仕上げ張りは、中央部より張り始め、周囲に向かって張り進めた。
2. 下張りせっこうボードに上張りせっこうボードを張り付けるために使用する接着剤は、200 mm 間隔で点付けした。
3. 木製下地にせっこうボードを直接張り付けるため、ボード厚さの 3 倍程度の長さのせっこうボード用くぎを用いた。
4. 壁の出隅部を補強するため、亜鉛めっき鋼板製のコーナービードを用いた。
5. 薄手の壁紙仕上げの下地ボードとして使用するため、小ねじの頭は、ボード表面と同面になるまでねじ込んだ。

[No. 42] 次のうち、建築物の品質管理に関する用語として、最も関係の少ないものはどれか。

1. ばらつき
2. 管理図
3. ロット
4. サンプルング
5. ISO 14000 シリーズ

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
 6 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 43] 建築確認手続き等に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 建築主は、やむを得ない理由があるときを除き、工事が完了した日から 7 日以内に建築主事等に到達するように完了検査を申請しなければならない。
2. 施工者は、工事現場の見やすい場所に、国土交通省令で定める様式によって、建築確認があった旨の表示をしなければならない。
3. 建築主は、高さが 4 m を超える広告塔を設置しようとする場合においては、確認済証の交付を受けなければならない。
4. 建築主は、建築確認申請が必要な建築物を建築する場合、当該工事に着手する前に確認済証の交付を受けなければならない。

[No. 44] 次の記述のうち、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 最下階の居室の床が木造である場合、原則として、外壁の床下部分には、壁の長さ 5 m 以下ごとに所定の換気孔を設けるものとする。
2. 最下階の居室の床が木造である場合における床の上面の高さは、原則として、直下の地面から 45 cm 以上とする。
3. 一戸建ての住宅における階段の踏面は、15 cm 以上とする。
4. 集会場における客用の屋内階段の幅は、120 cm 以上とする。

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
6 問題を超えて解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 45] 建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 一般建設業の許可を受けようとする者は、一の都道府県の区域内にのみ営業所を設けて営業をしようとする場合、許可申請書を当該営業所の所在地を管轄する都道府県知事に提出しなければならない。
2. 一般建設業の許可を受けようとする者は、営業所ごとに置く技術者を専任の者としなければならない。
3. 一般建設業の許可を受けた業者と特定建設業の許可を受けた業者では、発注者から直接請け負うことができる工事の請負代金の額が異なる。
4. 一般建設業の許可を受けた建設業者は、許可申請書に記載した営業所の所在する都道府県以外の地域においても建設工事を施工することができる。

[No. 46] 工事現場における技術者に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 建築一式工事に関し 10 年以上実務の経験を有する者は、建築一式工事における主任技術者になることができる。
2. 学校教育法による高等学校を卒業後、防水工事に関し 5 年以上実務の経験を有する者在学中に国土交通省令で定める学科を修めたものは、防水工事における主任技術者になることができる。
3. 国又は地方公共団体が発注する建築一式工事以外の建設工事で、請負代金の額が 3,500 万円の工事現場に置く主任技術者は、専任の者でなければならない。
4. 共同住宅の建築一式工事で、請負代金の額が 9,000 万円の工事現場に置く主任技術者は、専任の者でなければならない。

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
 6 問題をを超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 47] 次の記述のうち、「労働基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 使用者は、労働契約に附随して貯蓄の契約をさせてはならない。
2. 使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して就業の場所及び従事すべき業務に関する事項を明示しなければならない。
3. 使用者は、労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後 14 日間は、原則として解雇してはならない。
4. 使用者は、労働者の退職の場合において、権利者の請求があった場合においては、7 日以内に賃金を支払い、労働者の権利に属する金品を返還しなければならない。

[No. 48] 「労働安全衛生法」上、事業者が、所轄労働基準監督署長へ報告を行う必要がないものはどれか。

1. 産業医を選任したとき
2. 安全衛生推進者を選任したとき
3. 積載荷重が 0.25t の工事用のエレベーターにおいて、搬器の墜落事故が発生したとき
4. つり上げ荷重が 0.5t の移動式クレーンにおいて、ワイヤロープの切断事故が発生したとき

[No. 49] 建設工事に使用する資材のうち、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」上、特定建設資材に該当するものはどれか。

1. タイル
2. 粘土瓦
3. モルタル
4. パーティクルボード

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
6 問題を超過して解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 50] 次の記述のうち、「道路法」上、道路の占用の許可を受ける必要がないものはどれか。

1. 道路の上部に、防護柵を設置する。
2. 道路に、コンクリート打込み作業のためのポンプ車を駐車する。
3. 道路を挟んで向かい合う百貨店どうしを行き来できるよう、道路の地下を地下街でつなげる。
4. 道路に、工事用電力を引き込むための仮設電柱を設置する。

令和8年度(前期) 2級建築施工管理技術検定第一次検定 正答肢

問題No.	1	2	3	4	4問題を全問解答
正答肢	1	3	2	4	

問題No.	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
正答肢	4	3	4	4	3	4	1	2	3	2
10問題のうち5問題を選択し解答										

問題No.	15	16	17	3問題を全問解答
正答肢	3	4	1	

問題No.	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
正答肢	2	1	2	3	1	3	4	1	3	2
10問題のうち7問題を選択し解答										

問題No.	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
正答肢	2	4	3	3	2	4	2	3	1	4
10問題を全問解答										

問題No.	38	39	40	41	42	【能力問題】 5問題を全問解答
正答肢	5	2	3	5	5	

問題No.	43	44	45	46	47	48	49	50
正答肢	1	4	3	3	3	2	4	2
8問題のうち6問題を選択し解答								

配点：50問出題し、そのうち40問解答を要する試験であり、各問題1点、40点満点です。
能力問題は、5肢択一式となります。